

## 浦添大公園南エントランス管理事務所設計競技 審査講評

小倉 暢之 (琉球大学工学部教授・審査委員長)

### 総 評

このたび開催しました「(仮称)浦添大公園南エントランス管理事務所設計競技」は、応募者の年齢を40才未満の若手建築士に限定し実施したものであります。応募総数32件の応募が有りましたが、優れた作品が非常に多く、審査選考委員一同が2日間にわたり激論を交わし審議を行いました。また、公開ヒアリングを実施したことにより、一般の方にも審議の過程を見て頂くことが出来て大変良かったのではないかと感じております。

当該施設は、浦添大公園のメインエントランスに位置すると共に、浦添市の景観まちづくり仲間重点地区に隣接する敷地に立地するわけですが、予算や規模、景観形成基準等をクリアしなければならない等厳しい設計条件がある中で、若手らしい斬新なアイデアや様々な提案がなされたことは、今回の設計競技の目的と意義が十二分に発揮されたものであります。

また、応募作品全32作品中、1次審査に漏れた22作品の中にも大変意欲的で優れた作品があったことをこの場を借りて報告いたします。しかし、受賞しました5作品については、設計条件を十分に理解した上で合理的に具現化された、優れた提案がなされた作品であったことを高く評価いたします。

今回の設計競技が参加者の大きな自信となり、また、若手の建築士にとって大きな励みとなるよう願いたします。